

肛門ガッパの話 第4話



文 佐々岡健次

前回のお話は…

「肛門ガッパの親分は、わしの持っている土地に墓があって、そこに居たんだよ。」と云う男性に案内をしてもらい、やっと親分の住処と墓を見つけた！…というところでしたね。続きをどーぞ！

なるほど

何故、そんな事が云えるのか？話を聞いている内に「そうか！」九十九は、100個に足りなかった99個の肛門の話にちなんで「九十九塚」と云う名称になったのか、と合点がついた。



墓が…

この静かな山間のこの場所に親分は住み着いて、美又の湯に通っていたのだ。久佐を抜け、今の美又入口から加古屋川を下り、いつも川端の肛門ガッパの居る場所を通り美又温泉の湯を楽しんでいたのだ！行き帰りは又「肛門ガッパ」に「早よう100個集めて持ってくるように」と発破をかけていたのだろう。

牛…

その兄さんの話では、自分が子どもの頃父親から聞いた話として、先代の人がこの場所に牛をつれて来たら、牛が目をむいて暴れだして運悪くその牛に蹴飛ばされて命を落としたと云う話を聞いたとか…。その事が気にかかっていたが、父の代になって、その父がここへ牛をつれてきて田んぼを耕そうとしたら…

次回は…

田んぼに連れてきた牛におかしなことが起きた。異変に気が付いた父は！
次回を、お楽しみに。



アトランタで集合!



文・写真 教子ウィムセット

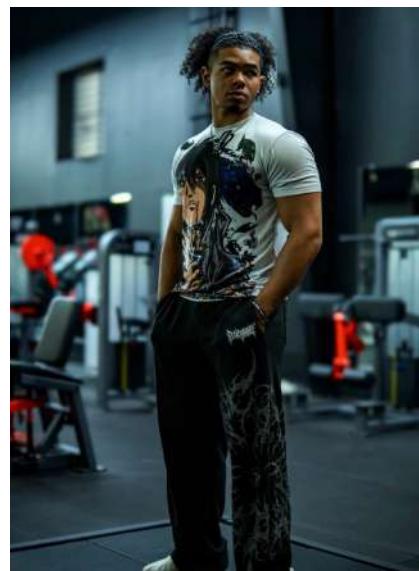
あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、皆さまは姉の陽子と甥っ子ドミニクを覚えていますか？実は、彼らと会うためにジョージア州アトランタ市へ行ってきました。息子たちは、学校で重要なテストがあったため、私は1人、車で片道4時間かけて会って参りました。



まずは、オキボルという有名な日本ラーメン屋さんで待ち合わせをしました。姉、甥、姪も非常に元気で久しぶりに会ったとは思えないほど、大話をした後、雑貨や食べ物の買い物をし、姪の大好きなタピオカを飲み、散々しゃべり倒してからナッシュビルへ戻ってきました。また、ドミニクは去年足を骨折をして手術をした後は順調に回復し、現在はアトランタのデルタ航空会社で姉と一緒に働いています。彼は、毎日ジムへ通うため体はムキムキのマッチョ、

そしてまあよく食べ、たまに友達と旅行へ行き、愛車を飛ばしてフロリダ州へドライブ…と、まさに人生を謳歌している話を聞き、私もとっても嬉しくなりました。



しかし、広いアメリカで姉がお隣の州にいてくれることは私にとって本当に心強いです。最近は、老眼の最新情報や足は痛い？手がしびれるよね？など、姉妹の会話内容が昔と比べて変化してきましたが（笑）何かあればいつでも相談できますし、海外生活を送る中で様々なことを互いに共感できる姉がいるって幸せなことだなと感じました。改めて、家族に感謝したいなと思った旅行となりました！

教子ウィムセットの海外だよりとは…

教子ウィムセットさんは、和田町の塙崎育生さんの次女で、現在テネシー州にお住まいです。海外の様子などを文章や写真で紹介していただいています。今回登場しました、ドミニクさんは旧和田小学校に4年生まで通っていました。